

使用上の注意点 (Alert Notes)

Macintosh 版 SAS システムリリース 6.12 (TS040)

「使用上の注意点(Alert Notes)」は、インストールの前あるいはソフトウェアを使う上において、知っておく必要のある問題点を列挙しています。不明な点がございましたら、SAS インスティテュートジャパン テクニカルサポート(TEL: 03-3533-3877 受付: 9:00-17:00)までご連絡ください。

目次

Base SAS ソフトウェア	2
SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェース	3
SAS/AF ソフトウェア	4
SAS/EIS ソフトウェア	4
SAS/ETS ソフトウェア	5
SAS/FSP ソフトウェア	5
SAS/STAT ソフトウェア	5
修正モジュールの提供に関するご案内	7

Base SAS ソフトウェア

*** FREQ プロシジャで、TABLES ステートメントおよび OUTPUT ステートメントに RISKDIFF オプションを指定し、リスク推定値をデータセットに出力した際に、ある層の表において 1 行もしくは 1 列がすべて 0 の値になっている場合、不正なリスク推定値がデータセットに出力されます。1 行もしくは 1 列の度数がすべて 0 になっている場合には、リスク推定値は計算できませんので、欠損値としてデータセットに出力されるべきですが、前の層のリスク推定値が誤って出力されます。

この問題は「SAS Notes」V6-FREQ-D359 に記述されています。

*** SQL クエリーウィンドウのオンラインドキュメンテーション(または SAS Guide to the SQL Query Windows, Usage and Reference, Version 6, First Edition)に記載されているサンプルテーブル EMPLOYEE を使用するには、RUNSAMPL というプログラムを実行しなければなりません。このプログラムを実行するには、SAS システムを導入したユーザ ID で以下の処理を行ってください。

1. SAS システムを起動し、SAMPLE というライブラリ参照名を定義します。

```
libname sample 'Macintosh HD:applications:SAS612:sample:sasdata';
```

Macintosh HD:applications:SAS612 の部分は、実際に SAS システムをインストールしたパス名に置き換えてください。

SAS システムを CD-ROM から起動している場合は、次のように指定します。

```
libname sample 'SAS612-nnnnnn:SAS612:sample:base:sasdata';
```

nnnnnn は CD-ROM のシリアル番号を表す 6 桁の数字です。

2. RUNSAMPL というプログラムを読み込みます。次のコマンドを発行してください。

```
include 'Macintosh HD:applications:SAS612:sample:base:runsampl.sas'
```

Macintosh HD:applications:SAS612 の部分は、実際に SAS システムをインストールしたパス名に置き換えてください。

SAS システムを CD-ROM から起動している場合は、次のように指定します。

```
include 'SAS612-nnnnnn:SAS612:sample:base:runsampl.sas'
```

nnnnnn は CD-ROM のシリアル番号を表す 6 桁の数字です。

3. 読み込んだプログラムをサブミットします。

- *** FREQ プロシジャで、フィッシャーの正確検定(EXACT オプションにて実行される計算)を実行するのに十分なメモリがない場合、SAS の LOG ウィンドウに下記のメッセージが表示され、データセットおよびプリント出力の p 値が不正になる時があります。

Row or column sum zero. No statistics computed for this table
Except for AGREE statistics.

上記のメッセージが表示されているのに、表にすべて 0 の行もしくは列がないのであれば、出力された p 値は不正な値になっています。なお、他の統計量は正しい値が計算されています。もし、上記のメッセージが表示されないのであれば、フィッシャーの p 値は正しく計算されています。

この問題は「SAS Notes」V6-FREQ-D546 に記述されています。

SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェース

- *** Visigenic Oracle 7 ODBC Driver 1.10 を使用している場合、SAS セッションから対話式にデータソースを選択する方法では、セッションごとに一つの接続しか確立できません。CONNECT ステートメントに PROMPT オプションをつけて二つ目の接続をしようとすると、次のエラーが発生します。

Invalid authorization specification

QUERY ウィンドウも対話式にデータソースを選択するようになっているため、この Visigenic ODBC ドライバを使った場合は二つ以上の ORACLE データソースには接続できません。

なお、Visigenic Oracle 7 ODBC Driver 1.10 は、Mac OS for Power PC 用の ORACLE SQL*Net Client Version 2. 3. x と一緒に使用することはできません。SQL*Net Client Version 2. 1. x を使用する必要があります。

SAS/AF ソフトウェア

*** データフォームやデータテーブルの Model SCL 内に複数の列変数(データセット変数)が記述され、INIT セクションで列変数の値を更新する場合、その列変数の値が更新されないことがあります。Model SCL 内に記述されている複数の列変数のうち、データセットで最初に定義されている変数のみ INIT セクションで更新されます。また、それら列変数のうちデータセットで最初に定義されている変数が INIT セクションにない場合には、INIT セクションの全ての列変数の値は更新されません。例えば、SASUSER.CLASS データセットを用いた次の Model SCL プログラムでは、列変数 AGE も HEIGHT も更新されません。これは Model SCL では 3 つの列変数 NAME, AGE, HEIGHT が記述されていますが SASUSER. CLASS データセットでのこれら 3 つの変数のうち最初に定義されている変数が NAME のためです。

```
INIT:
  age=55;
  height=55;
return;
```

```
MAIN:
  put name=;
return;
```

この問題は「SAS Notes」V6-AF-C942 に記述されています。

SAS/EIS ソフトウェア

*** EIS 起動時に次のようなメッセージが表示されますが、動作上問題はありません。

```
ERROR:コマンドはマッキントッシュ上ではサポートされません。
```

SAS/ETS ソフトウェア

*** PROC MODEL において $y = -a + b * x$; のように切片パラメータに負の符号を付けたモデル式を指定し、GMM 法で推定した時に間違った結果が出力されたり収束しなくなる場合があります。この問題を避けるには、切片パラメータに対する符号が負にならないようにモデル式を指定してください。

この問題は「SAS Notes」V6-MODEL-C938 に記述されています。

*** 時系列予測メニューシステムで、選択した時間変数の値が重複している場合にエラーが発生してプログラムが停止します。また、複数の予測モデルの組み合わせを行った場合もエラーが発生します。この問題を解決するための修正ファイル(etstool.cpo および forecast.cpo)は次のサービスを利用してダウンロードしていただくことができます。

- ・インターネット経由での FTP サービス
- ・NIFTY-Serve のデータライブラリ

ダウンロードの手順につきましては、「修正モジュールの提供に関するご案内」の項をご参照ください。なお、上記のサービスをご利用になれない場合は弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

SAS/FSP ソフトウェア

*** PROC FSVIEW でウィンドウに入りきらないような長さの文字変数の値を更新した場合、更新された値はウィンドウに表示されていた長さに切り詰められてしまいます。

この問題は「SAS Notes」V6-FSVIEW-C730 に記述されています。

SAS/STAT ソフトウェア

*** PROC REG において、SELECTION=MINR もしくは SELECTION=MAXR を指定し、PLOT ステートメントで CP および BIC をプロットした場合、そのプロット上の値が間違っています。この時、他の箇所に出力される値は間違っていない。

この問題は「SAS Notes」V6-REG-C941 に記述されています。

*** DISCRIM, CANDISC, STEPDISC プロシジャにおいて、BY ステートメントを用いて、かつ ALL, SIMPLE, BCORR, TCORR, BCOV, TCOV, BSSCP, TSSCP, ANOVA, MANOVA, STDMEAN オプションを指定した場合に、下記の統計量がいくつかの、もしくはすべての BY グループにおいて不正な値になっている可能性があります。

- 級間("Between-Class ")に関する統計量
- 全標本("Total - Sample")に関する統計量
- 単変量および多変量の検定統計量
("Univariate Test Statistics " と "Multivariate Test Statistics ")
- プールした分散と全平均で標準化した各群の平均
("Pooled Within- Class Standardized Class Means")

また、いくつかの、もしくは全ての BY グループに対して下記の Warning メッセージが出力されます。

WARNING: Total-sample STD for variable <var> is equal to 0 in DATA=
data set or BY group.

WARNING: Within-class means are all equal in DATA= data set or
BY group.

全標本から計算される分散が 1 より小さい場合、この現象が起こる可能性があります。この問題は、OUTSTAT=オプションによって出力されるデータセットおよびプリント出力の両方に影響を及ぼします。正しい値を求めたい場合には、上記リストのオプションを指定しないか、BY グループに対して個別にプロシジャを実行してください。また、MEANS プロシジャ、CORR プロシジャ、GLM プロシジャによって正しい値を得ることもできます。

この問題は「SAS Notes」V6-SYS.PROC-D345 に記述されています。

*** CANCORR プロシジャにて、下記に述べるオプションの組み合わせ以外で PCORR オプションを指定した場合、PCORR オプションの出力("Partial Correlation Removing the Effects of All Other Regressors from Both Regressor and Criterion"における出力)が不正な値になります。正しい出力を得るには、下記に示すオプションの組み合わせを指定して下さい。

- PCORR VDEP ALL
- PCORR WDEP ALL
- PCORR SQPCORR
- PCORR SQSPCORR

この問題は「SAS Notes」V6-CANCORR-D507 に記述されています。

修正モジュール提供に関するご案内

SAS インスティテュートジャパンは、製品出荷後に発見された不具合に対する修正モジュールなどを次のサービスにより提供しています。

1. NIFTY-Serve SAS ステーション

GO SAS コマンドで SAS ステーションへアクセスし、[4.データライブラリ] [メンテナンスモジュール]を選択して、最新の修正モジュールを入手することができます。

また、[4.データライブラリ] [ドキュメント]を選択して最新情報をご覧ください。

2. World Wide Web(WWW)

WWW ブラウザを用いて、SAS インスティテュートジャパンのホームページ (<http://www.sas.com/japan/>) にアクセスし、[テクニカルサポート] [FTP サービス] [FTP サービス - サーバに接続] [maint/]を選択して、最新の修正モジュールを入手することができます。

また、[テクニカルサポート] [SAS FAQ]、[SAS HOW-TO]、[SAS Notes(Version6)]などを選択して最新情報等をご覧ください。

3. Anonymous FTP サービス

ftp コマンドを用いて、米国 SAS Institute Inc. の FTP サーバ (<ftp.sas.com>) にアクセスし、/pub/webfiles/Japan/maint ディレクトリに移動して、最新のモジュールを入手することができます。ユーザID、パスワードは以下のように入力してください。

```
% ftp ftp.sas.com
```

```
ftp> Name(ftp.sas.com:userid) : anonymous
```

```
ftp> Password:お客様の E-mail アドレス
```

```
ftp> cd /pub/webfiles/Japan/maint
```

株式会社 SAS インスティテュートジャパン

本社	〒104-0054 東京都中央区勝どき 1-13-1 イヌイビル・カチドキ 8F T E L : 03-3533-6921 F A X : 03-3533-6927
大阪支店	〒530-0004 大阪市北区堂島浜 1-4-16 アクア堂島西館 12F T E L : 06-6345-5700 F A X : 06-6345-5655
九州営業所	〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 2-14-1 小倉興産 KMM ビル 3F T E L : 093-512-5014 F A X : 093-512-5016
テクニカルサポート	T E L : 03-3533-3877 F A X : 03-3533-3781

本文書の内容は予告なく変更されることがあります。

SAS および米国 SAS Institute Inc.の他のすべてのプロダクト名、サービス名は米国 SAS Institute Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他本文中で使用しているシステム名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。